

よくある Question and Answer <2020.6.11 版>

<体調に関すること>

- 1) いつもの平熱より高い, 37.5℃までではないが37℃の微熱がある。登校してよいでしょうか。
→平熱より高い時には登校を控え、学生支援課に症状(熱, その他の身体症状, 受診の有無等)を連絡し、その後、完治したら、その旨を学生支援課へ伝えてください。
- 2) 平熱だが、咽頭痛や頭痛等軽い体調不良がある。登校してよいでしょうか。
→体調不良時は、登校できません。欠席して学生支援課に1)と同じ内容を連絡してください。
- 3) 外出時にマスクなしで出てしまった。感染していないか不安です。
→帰宅後、体温測定、呼吸器症状、消化器症状等に注意し、手洗い等に注意して下さい。
近くに人がいない場所や時間帯等、密な状態でなければ、感染リスクは低いと考えられますが、そうでない場合は、自宅で人と接触を控える生活を送りましょう。
- 4) この頃よく眠れない。気持ちも晴れないのですが。
→生活習慣を見直しましょう。起床・就寝時間、食事時間、活動時間、日光に当たる時間等を見直し、少しずつでも通常の生活時間に戻してみてください。
不眠が続くとき、気持ちが滅入る状況になるときは、学生相談室の活用、あるいは、思いきってメンタルクリニック等の受診も検討してみてください。

<感染リスクについての心配>

- 1) 通学でどうしても公共交通機関を使わないといけないので感染が不安。どう気をつけて登校したらよいか、具体的に教えてほしい。
→マスクを必ず着用してください。転倒等に注意する意味でつり革等に掴まって安全に通学してください。ただし、手洗いするまでは、手で顔等に触れないようにし、降車後に石鹸で手洗い・アルコール消毒を行ってから、次の行動に移るようにしてください。いろいろな場所を触った手で、マスクに触れないように気を付けましょう。
- 2) 同じキャンパス内に大学病院があるので、大学に登校して感染しないか不安です。
→大学病院中央棟への立ち入りは当面禁止です。コンビニを利用したい場合は、立石プラザのセブンイレブンを利用してください。大学病院では、入館が厳しく制限され、個別の問診等が徹底されています。スタッフの方が看護学部で講義して下さる際も、大学側と双方で感染対策を徹底して実施しています。大学病院のサイトも参考にしてください。
- 3) 家族に高齢者(あるいは感染すると重症化しやすい疾患をもっている家族)がいる。自分が感染源にならないためにはどうしたらよいでしょうか。
→帰宅後は必ず手洗いをしてください。また易感染状態のご家族と話をしたり、同じ部屋で過ごす時にはマスクを着用することや、少し距離をとるよう気をつけてください。

<講義・演習・実習>

- 1) 大学病院の実習や、外部施設の実習に行くことで感染しないか、実習先での感染対策は十分か、自分も家族も心配している。
→7月月末までの臨床実習は中止することになっています。実習については、「6月11日の学部長メッセージ」を確認してください。看護学部では、学生の皆さんと患者さん/利用者さん双方の安全を第一に考え、実習の方針について、この後も担当領域・大学・実習機関・施設と検討して進めていきます。
- 2) 演習で着替えるときロッカーが混み合うのではないかと心配である。

→みなさんのロッカー室は、既に割り当てられており、Web 掲示板等において通知済みです。

① 更衣中は会話をしない。②速やかに更衣し、速やかにロッカールームから退室する。③通学時間が短い学生さんは、通常より早めに更衣して、早めに退室できるように協力してください。

3) 演習でクラスメートと密着して過ごすのが心配です。

→演習では、通常よりも多くの教室を使用して、ソーシャルディスタンスを保つことができるようにしています。また、演習も講義と同様に窓とドアを開放して、マスクを着用して、換気を行いながら行います。学生の皆さんも、演習前後の手指衛生と健康チェック(体温測定含む)を確実に行っていただくことが重要になります。

4) 講義を受けるとき、自分自身はどのような感染対策を心掛けたらよいでしょうか。

→教室に注意事項の掲示がありますので、印のついた席に座ってください。マスク着用で授業を受け。入退室時に手洗いとアルコール消毒を徹底してください。換気しながら受講していただくので、寒暖差を調整できる服装で登校してください。

<授業以外>

1) アルバイト先や外出時にマスクをすることを忘れてしまった。どうしたらよいでしょうか。

→帰宅後、しっかりと手洗いをしてください。体温測定をし、呼吸器症状、消化器症状等に注意してください。近くに人がいない場所や時間帯等密な状態でなければ、感染リスクは低いと考えられますが、そうでない場合は、自宅で人と接触を控える生活を送りましょう。

2) 親や同居している家族が発熱した。受診したら感染症の疑いがあると言われた。

自分が濃厚接触者になった場合、どうしたらよいでしょうか。

→「濃厚接触者＝感染者ではありません」。確認検査や健康観察が必要な場合があると思います。厚生労働省のホームページ「ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～」等を参考に、体温測定等、健康観察を続け(14日間とされています)、大学に登校するのは控えてください。

3) 十分なマスクがない、どうしたらよいでしょうか。

→手作りマスクでもOKです。少しずつドラッグストアの店頭にも以前と同様の価格で市販され始めています。いろいろな方法で準備してください。

4) マスクをとってお昼ごはんを食べるときが心配である。半日単位にする等、大学で昼食を食べなくてもよいようにならないのでしょうか。

→時間割によっては、大学の滞在時間が長い場合もありますが、登校された際に、効果的に講義を受けることができるように、工夫して時間割を作成しています。昼食時は以下のことに気をつけてください。

- ① 飛沫・飛散を避けるため、指定された教室内の座席に着席して昼食をとってください。
- ② オレンジ等は混雑が予想されますので、できればお弁当を持ってこられることをお勧めします。コンビニ利用の場合は、立石プラザを利用してください。
- ③ 学生ホールや廊下での飲食は禁止します。
- ④ 食後は、机の上をウェットティッシュ等で拭いてください。
- ⑤ マスクを外す際は、マスクの外側に触れないように外し、机の上に置かず、清潔なビニール袋等に入れてください。マスクをつける時もマスクの外側に触れないように着けてください。

<学修に関すること>

1) 遠隔授業が続き、学習したことが身についているかわからない。ついていけないか不安です。

→教員は遠隔授業でも双方向性に留意しています。教員もみなさんの反応を確認したいなと思いながら講義をしていますので、ぜひ講義中に積極的に質問してください。チャット機能をうまく使うとよいと思います。メールやAIDLE-K, mahara 等、講義ごとに振り返り方法を伝えられていると思いますので、授業後でも提示された方法で積極的に教員に疑問点等を尋ねてください。

- 2) 遠隔授業で通信が悪い時があり、きちんと聞いていない授業がある。試験が不安です。
→そのとき、その場で講義している教員に伝えて、聴けなかった部分の確認をしましょう。試験が、シラバスに示された内容が変更となっている場合もあります。不安・疑問をもったときに、積極的に担当教員に質問してください。長い時間の通信障害等があった場合は、教学課へ相談してください。
- 3) 臨地実習に行けず、実際の患者さんに触れないまま、今後看護師・保健師の資格を取れるのか、看護師としての力がつくのか心配。国家試験や就職は大丈夫か心配です。
→看護学部では、遠隔での実習や学内での実習でも少しでもリアリティがある学びができるように、最大限の工夫をしています。実習に出られないのは、全国的な状況で、どこも同じです。今できることにしっかり取り組んでいきましょう。
国家試験については、通常授業で学修を積み重ねること、対策講座や模擬試験等による学習の機会を効果的に用いること等に取り組んでください。
国家試験や就職対策については今後も看護学部からアナウンスをしていきます。大学からの情報を確実に得ていってください。
- 4) 大学を欠席すると出席日数が得られず、単位取得が心配です。
→学生便覧、および、シラバスにある単位認定の項目を確認しておきましょう。
実習科目については、実習要綱も確認してください。
出席日数について、コロナウイルスによる感染症疑い等の公欠以外は変更がありません。

<学生生活に関すること>

- 1) 在宅での学習が続き、生活習慣が乱れてしまった。朝早くに登校できるか不安です。
→少しずつでも元の生活に戻していきましょう。
朝は朝日を浴びる、在宅で遠隔授業を受ける日でも登校日と同じ日課を送る、同じ時間に食事をする、十分な睡眠時間を確保する、一日の中で体力にあわせた運動を行う、就寝前にスマホ等を使わない(ブルーライトを浴びない)等、基本的な生活習慣から整えていきましょう。
- 2) 親の仕事の関係で家庭の経済状態が厳しくなっている。今後大学を続けられるか心配です。
→「①遠隔授業環境支援金として全学生への一律5万円給付(現在、申請受付中)」
「②家計が急変した学生に対する授業料の一部減免(詳細が決まり次第通知)」があります。
また「③リユース PC の貸し出し」等の利用をしてください。(まだお貸しできる PC がありますので、申請可能です。)
この①②は学生支援課に問い合わせ、③は教学課に問い合わせてください。

状況の変化に伴い、今後も更新していきます。